Q. 第２回会議で出された「解決策のアイデア（①～⑬）」を参考にしながら、前回担当したターゲットの視点で、ボランティア活動の継続性や活性化につながる具体的な取組をご提案ください。

事前課題①
ターゲット３（現役世代）

資料２－１

事業タイトル
学校花壇開放事業
（解決策のアイデアの番号：②, ③, ④, ⑥, ⑧, ⑨, ⑩, ⑪）

概　要
区内の小中学校の敷地内にある花壇を開放し、区民協働の花壇を維持運営する。
運営委員会を主体とするが、近隣の住民、生徒、児童、父母保護者、教員なども含めた自由参加型で行う。
美観維持のため、周辺の除草や剪定、落ち葉はきも行なう。

区民・団体の役割
花壇の造成、維持、管理 活動計画、報告 参加者支援、補助

区の役割
予算、学校・教育委員会との調整、運営委員会の事務局

事業タイトル
記念植樹制度
（解決策のアイデアの番号：①, ④, ⑤, ⑥, ⑨, ⑩, ⑪, ⑬）

概　要
各種の記念植樹運動を公園や憩いの森で実施する。
植樹後一定期間を置いてから記念樹木の観察会を実施することにより、みどりの大切さなどが感じられボランテイア活動参入が期待できる。将来はコア会員として次世代のみどりを展望した活動につながる。

区民・団体の役割
・指定日近くの公園等で祈念の植樹する（家族も同伴可）
・参加者募集
・活動日は参加しやすい土、日とする。
・植樹作業のサポートをして初参加者の負担を軽減する
・記念植樹後一定期間を置いて現地で区民も参加して「観察会」を実施する（その間、水やりなど管理を実施）

区の役割
・場所の提供と公園内の植樹の承認（公園又は憩いの森）
・苗木（代）の提供
・記念植樹制度の広報
・参加者募集の支援

事業タイトル
いつでも・どこでも・だれとでも
（解決策のアイデアの番号：⑨）

概　要
別紙参照

区民・団体の役割
・単発参加や見学参加を受け入れる
・初心者向け活動を用意する
・参加者同士が交流しやすい雰囲気をつくる
・知識や技術を分かりやすく伝える

区の役割
・活動情報を分かりやすく発信する
・団体と区民のマッチングを行う
・活動場所や資材を支援する
・初心者向け体験会や合同イベントを開催する
・「単発参加歓迎」の仕組みを後押しする

事業タイトル
まちなか花いっぱいでぃ
（解決策のアイデアの番号：①, ②, ③, ④, ⑤, ⑥, ⑦, ⑧, ⑨, ⑩, ⑪, ⑫, ⑬）

概　要
期間を決めて、街中や、各家々の玄関、お庭、 ベランダ、窓際など、自由に飾る期間を設ける（１週間程度）自由参加で。メインステージを決めてもよい。
撮影した写真の展示会をさしてもよい。
✱福岡市の「まちなか花装飾」にヒントを頂きました

区民・団体の役割
上に同じ

区の役割
メインステージの提供、参加された方への粗品進呈など。写真展の運営

【解決策のアイデアの番号（①～⑬）】①単発・短時間やスポット型の参加形態／②柔軟な参加ルール／③できる範囲で関われるサポートメンバー制度／④土日開催・身近な場所で参加できる活動／⑤現地での可視化／⑥ターゲットに合った情報発信／⑦情報発信の連携・一元化／⑧学校やイベントを通じたプッシュ型情報発信／⑨緩やかな受け入れ体制／⑩初心者でもできる作業内容からのスタート／⑪身近な人からの声掛け／⑫体験機会・ゲーム性・収穫などの工夫／⑬インセンティブ・ご褒美

Q. 第２回会議で出された「解決策のアイデア」を参考にしながら、前回担当したターゲット意見が出た「解決策のアイデア」についてボランティア活動の継続性や活性化につながる具体的な取組をご提案ください。

事前課題②
ターゲット３（現役世代）

資料２－２

事業タイトル
出前落ち葉はき
（解決策のアイデアの番号：⑲, ⑳）

概　要

家族やグループの単位で、要請のあった区内各所にて落ち葉はきを行う。
登録制にして、マッチングした場合に実施する。

区民・団体の役割

参加メンバー集め
落ち葉の処理

区の役割

マッチングシステムの構築
道具の貸し出し

事業タイトル
街中を菜の花でいっぱいにする運動
（解決策のアイデアの番号：⑱, ⑲, ⑳）

概　要

活動中の地元の町内会で、各家庭に菜の花のタネを無料配布することを提案し、菜の花を育ててもらい町中を菜の花でいっぱいにする運動。

区民・団体の役割

・菜の花のタネ袋を無料でもらえるよう手配
・地元町会にタネ袋を配布し種まきを依頼
・はなが咲いたら見学会など実施

区の役割

・広報ＰＲ

事業タイトル
親子で地域を探検しながら、未来をデザインしてみよう！
（解決策のアイデアの番号：⑲）

概　要

別紙参照

区民・団体の役割

別紙参照

区の役割

別紙参照

【解決策のアイデアの番号(⑭～㉒)】⑭若者が日常的に利用するSNSや動画による情報発信／⑮団体の雰囲気や活動内容がわかる見学・体験／⑯地域の歴史や自然を学びながら楽しさや達成感を得られる体験機会／⑰開催日程の柔軟化、単発化／⑱既存の地域活動にみどりの要素を取り入れる／⑲地域に関わるメリットを実感できる機会／⑳感謝・達成感を実感できる機会／㉑紙媒体の活用と現地での案内・掲示／㉒庭の手入れなど個人で行っている取組（趣味など）を地域活動につなげる工夫

Q. 前回の会議で共有しきれなかった意見や新たに思いついたアイデアなどがありましたら、具体的な内容とあわせてご提案ください。

事前課題③
ターゲット１～４共通

資料２－３

■他の班からのアイデアや事前課題③に記載されたアイデア（班として特に提案したい取組として整理する際に、他の班からのご意見も参考にご活用ください）

事業タイトル
大学、現役世代ボランティアグループ
（解決策のアイデアの番号：①,②,③,④,⑧,⑩,⑬）

ターゲット１
ターゲット３
へのアイデア

概　要

時間にゆとりがない分、オンラインを通しての学びや、活動を土日に限り、ボランティア打ち合わせはオンラインにする
参考　豊玉リサイクルセンター　Sunday volunteer グループ（主に社会人で構成、他のグループは平日活動や対面打ち合わせだが、打ち合わせはオンラインにし、活動は土日の合同イベントなどに限り参加）
大学生が現役世代と関わることで、就職や働くことについて関係づくりできる場にもなる

区民・団体の役割

若者、現役世代視点でのみどりを守る活動の協議やイベント企画など

区の役割

打ち合わせ調整や議事録作成。
予算管理、物品購入など。
地域の大学への参加呼びかけ

事業タイトル
（暫定）若者とみどりの交流・意見交換会
（解決策のアイデアの番号：ー）

ターゲット１
へのアイデア

概　要

みどりのボランティア活動に参加している若者や、活動に関心はあるものの参加していない若者が集まり、活動経験や関心、参加するうえでの課題などを共有する機会を設ける。
若者同士の横の繋がりを育み、新たな活動を知るきっかけや、継続的な参加につなげる。
また、若者から寄せられた意見を、団体の活動や受入れ方法の改善に活かす。

区民・団体の役割

交流会への参加、活動情報や経験の共有、若者の意見を踏まえた活動の改善

区の役割

交流会の企画・運営、若者への周知、参加者と活動団体との繋がり作り、意見の集約と団体への共有

事業タイトル
アイデア発掘制度
（解決策のアイデアの番号：②,⑧,⑨,⑬）

ターゲット４
へのアイデア

概　要

ターゲットは区内に長年住んで居ますので、練馬区の緑や農地の減少を肌で感じている。
中高年夫婦の家は以前畑だった、シニアのベランダからは少なく成って来た練馬の様子が感じて来る。
だからそれぞれの意見を出して貰う、練馬の緑の変遷等を区報に投稿して貰い、緑の減少を食い止めるアイデアを出して貰う。

区民・団体の役割

学校を通して小学生に対して緑の大切さや触れ合う機会を作る「町探検」等。

区の役割

区報に話題や花壇活動員募集の記事を載せる

事業タイトル
シニアみどり参加デー
（解決策のアイデアの番号：㉑）

ターゲット４
へのアイデア

概　要

活動場所に告知用のノボリを立てる「花壇活動実施中、会員募集中」
当日は会員募集の案内や活動内容、四季の花壇の様子等を掲載したチラシを配布する。
公園では毎朝ラジオ体操実施中につき、チラシ配布し加入促進する、特にシニアが多い為。

区民・団体の役割

パソコンでチラシ作成する

区の役割

ノボリを作る会社の紹介、繋いで貰う広報紙に載せる機会を作り花壇活動の紹介

Q. 前回の会議で共有しきれなかった意見や新たに思いついたアイデアなどがありましたら、具体的な内容とあわせてご提案ください。

事前課題③
ターゲット１～４共通

資料２－３

■その他ご提案・ご意見

介護サービスを受けられる65歳を目安に地域活動参加のパンフレットの送付。
要支援手前の支援予防の生きがい、体づくりなど、みどりだけでもなく、興味、関心、これまでの　経験を生かしたボランティア活動への登録を促す
リサイクルセンターのように、各地域でみどりのセンターをつくり、老人だけでなく、若者や現役世代、ひきこもり、不登校の学生、障がいのある方など居場所づくり、活動、みどりを通じた人とのコミュニケーションができる拠点になる場所をつくる。

私は現在地域自治会の会長をしています。 朝会時色々な啓蒙活動をしていますが花壇活動への参加や運動の為に花壇を眺め気晴らし、落ち葉拾いの参加をお願いしています。
花壇活動を区民にPRする為に花壇周辺にミニ掲示版の設置、プラスチックで出来たケースの設置をお願いしたい。（次に花植えの日程の告知、どんな花を植えて欲しいか提案）
区民との繋がり。

ボランティア団体の善意に頼りきったイベントの開催は、現在活動している人たちを疲弊させ、その人たちが活動から手を引くなどの逆効果になり得ます。
ボランティアをしている人もほとんどが素人であり、時に専門家に助言を受けたい、困っていることを共有したいと思っている人が多くいます。
そういった意味でも、まちづくりセンターなどにうまくコーディネートしていただきたいのです。センターの位置づけや みどり推進課との区別がよくわかりません。
現在活動している人たちが楽しそうに活動をしていれば、周囲の関心も高まると考えます。まずはそうした方たちを大切にした上で、更なる増員を目指していただけますよう重ねてお願い申しあげます。

区民に知ってもらう事が大事です。
親子、孫との体験会 各団体との体験、見学めぐり

この会議で提案された事業を、実現に向けて期待している。

課題①②ともアイデアに対する具体例は「AI（Copilot ）」を活用したが、
よかったのかな？

別　紙

事前課題①「いつでも・どこでも・だれとでも」の概要

みどりの育成・保全活動に関心のある区民が、継続的な活動への参加や専門知識の有無にかかわらず関われるよう、「いつでも・どこでも・だれとでも」をコンセプトとした施策を展開する。AI も活用しながら、区民一人ひとりが自分のペースでみどりと緩やかにつながり、参加への心理的・時間的なハードルを下げるための取組として、以下の施策例を提案する。

① いつでも～参加したいときに、気軽に関われる～

アイデア⑴：ワンデイ参加制度

「1 回だけの参加を歓迎」、「入会不要」、「年 1 回の参加でも可」、「まずはお試し参加」を推奨

ポイント「一度参加したら継続しなければならない」という不安を解消する。

アイデア⑵：15 分みどり活動

「水やりだけ」、「花壇のごみ拾いだけ」、「落ち葉集めだけ」など短時間で完結する活動メニューを用意する。

ポイント 忙しい世代でも参加しやすい。

② どこでも～身近な場所でみどりと関われる～

アイデア⑶：まちかど緑活動 「公園」、「駅前花壇」、「街路樹周辺」、「学校や公共施設」など、自宅近くで参加できる活動を増やす。

ポイント 活動場所への移動負担を減らす。

アイデア⑷：自宅でも参加できる仕組み

「ベランダ緑化」、「プランター育成」、「緑の観察記録」なども活動として位置付ける。

ポイント 外出が難しい人も関われる。

アイデア⑸：デジタル参加 「開花情報の投稿」、「緑の写真投稿」など現場に来なくても SNS での情報発信し貢献できる仕組みをつくる。

ポイント 「活動＝作業」というイメージを広げる。

③ だれとでも～知識や経験に関係なく参加できる～ アイデア⑹：初心者歓迎デー「初参加者限定回」、「見学会」、「体験会」を開催する。

ポイント 初心者同士で安心して参加できる。

アイデア⑺：見るだけ参加 OK 「作業しなくてもよい」、「話だけ聞くのも可」、「活動の見学だけでも可」とする。

ポイント まずは活動に触れる機会を増やす。

アイデア⑻：レベル別参加コース 「見学コース」、「体験コース」、「初級作業コース」、「技術習得コース」を設ける。

ポイント 専門知識がなくても参加しやすい。

事前課題②「親子で地域を探検しながら、未来をデザインしてみよう！」の概要ほか

概　要

中高生の親子向け企画では、「家族で参加できること」「親子が対等に取り組めること」「地域とのつながりが生まれること」が重要である。

花植えや清掃活動だけでは中高生にやらされ感が生じやすく、保護者も受け身になりがちだ。そこで、AI も活用しながら、親子が家族チームとして主体的に参加できるプロジェクト型活動を提案する。以下にその具体例を示す。

１　親子みどりミッション DAY　～家族で地域の未来をデザインしよう～

２　対象　中学生・高校生　保護者

３　時間　半日（3 時間程度）

４　活動内容

〈ミッション 1〉地域の「みどり発見ウォーク」家族ごとに地域を歩き写真で記録

　①好きな景色、②暑い場所、③緑が足りない場所、④居心地の良い場所　※中高生の役割「撮影」「調査記録」「SNS 風レポート作成」　※保護者の役割「地域の歴史や思い出を共有」「子どもと意見交換」

〈ミッション 2〉親子まちづくり作戦会議

　家族ごとに「この場所をもっと魅力的にするには？」を話し合う。

　例　①花壇を増やす、②ベンチを置く、③木陰を増やす、④昆虫が集まる場所を作るなど

〈ミッション 3〉みどり実践ワーク

　実際に簡単な緑化活動を実施

　例　①花植え、②プランターづくり、④樹名板づくり、⑤ベンチ周辺の緑化、など成果がその日に見える内容にする。

〈ミッション４〉成果発表

　各家族 3 分程度で発表 発表テーマ①今日の発見②一番驚いたこと③今後やってみたい活動

【参加メリットを実感できる仕掛け】

〇中高生

①ボランティア活動実績になる、②探究学習につながる、③地域課題を考える経験になる、④写真・動画編集能力を活かせる、⑤SDGs 活動として記録できる

〇保護者

①子どもとの共通体験になる、②地域とのつながりができる、③防災や見守りの安心感につながる、④地域情報が得られる

区民・団体の役割

①楽しさや専門性を提供する

「花植えや樹木管理の指導」「生きもの観察会の実施」「地域の自然や緑の魅力の説明」「活動を楽しめる工夫」など中高生や保護者にとっては、「植物に詳しい先生」のような存在です。

②活動の受け皿になる

「単発イベント後の継続参加先になる」「気軽に参加できる雰囲気づくり」「新しい参加者へのフォロー」

③地域の緑の価値を伝える

「緑が防災や暑さ対策に役立つこと」「緑が地域コミュニティを支えること」「地域の自然環境の変化」を身近な言葉で伝える。

【特に重要な役割】

　親子が参加をためらう最大の理由は、「何をするのかわからない」、「知り合いがいない」、「継続参加を求められそう」、「忙しい」という不安だ。 そのためには「参加してよかったと思える体験を提供する役割」を担うことが大事だ。

区の役割

①参加のきっかけづくり

「学校や PTA への周知」「広報誌や SNS での情報発信」「会場確保や募集支援」参加者募集は自治体が得意な分野である。

②活動環境の整備

「公園や緑地の利用許可」「花苗や資材提供」「保険加入」「安全管理」団体だけでは難しい部分を支援する。

③学校との橋渡し

「中学校・高校との連携」「総合的な探究の時間との連携」「ボランティア活動証明」中高生の参加促進につながる。

④活動成果の見える化

「表彰」「活動報告会」「ホームページ掲載」「地域イベントでの発表」参加者の達成感を高める。

【特に重要な役割】

親子が参加をためらう最大の理由は、「何をするのかわからない」、「知り合いがいない」、「継続参加を求められそう」、「忙しい」という不安だ。 そのため自治体（練馬区）は「最初の参加のハードルを下げる、入口をつくる役割」を担うことが大事だ。